

はるか遠い先土器時代、私たちの祖先は海辺の台地や湿地で暮らしていました。中世には北条氏、後に酒井氏が城を建て、この地を治めます。江戸時代には商業地としての基盤が築かれ、その繁栄の波に乗り、明治以降の近代化も順調に進んでいったのです。

## 先人の足跡をたどる

【古代から現代までの東金通史】

約1万年前 市内のいくつかの遺跡から、先土器時代の石器や縄文時代の住居跡などが発見されている

弥生時代〜平安時代 山田水呑、道庭、久我台、南外輪戸、家之子古墳群、極楽寺古墳群など、市内には数多くの遺跡がある  
807年 最澄、安国山最福寺を建て、その頂上に山王大権現(日吉神社)を建立  
938年 天慶年間、御門村に妙善寺・水神社建立  
1001年 大多喜城主薄井貞景、新宿に五十瀬神社(旧名神明宮)を建立

1166年 仁安年間、山辺郡鴛ヶ嶺城に千葉介氏族居住す  
1180年 源頼朝、安房より上総に渡り、鳴浜白旗の八幡神社に参詣する  
1186年 西行法師、山田坂東谷に山城国貴船神社の分霊を安置して、貴船神社をつくる  
1193年 鴛ヶ嶺は千葉氏属将の支配下に入る  
1204年 畠山氏、大関城を依古島に築く  
1249年 北条長時、房総三州の守護職となり久我城を築く  
1280年 北条久時、願成就寺を建立  
1289年 久時、久我台に高福山上行寺を建てる。また、八坂神社を建てる  
1325年 蓮秀日寿の開基で大沼田に妙経寺建つ  
1333年 久我城、廃城となる  
1387年 日吉神社を鴛ヶ嶺台上より今の地に移す  
1488年 酒井定隆、土気城主となる  
1490年 武射田古谷より現在地に武射神社を移転する  
1509年 酒井定隆、第三子隆敏と共に田間城を築く  
1521年 酒井定隆、田間城より東金城に移る  
1526年 酒井隆敏、大関城を攻め、落城させる  
1564年 東金城主酒井敏房、里見に加勢して国府台へ出陣する  
1576年 土気、東金の両酒井、里見に背き北条氏政に属す  
1590年 東金城は、豊田家家臣浅野長政・石田三成へ城地を明け渡して落城する  
1592年 酒井政辰の長男政成、徳川家康の旗本となる

1604年 雄蛇ヶ池起工。代官嶋田伊伯、10年かけてこれを完成させる  
1613年 東金御殿建築  
1614年 徳川家康、船橋東金間に御成街道を造る。東金御殿に來遊、東金町に文珠組8名、御鳥見役5名を置く  
1615年 徳川家康、東金御殿に再度來遊  
1618年 徳川秀忠、東金御殿に來遊(秀忠は東金に1630年までに7回來遊)  
1642年 東金は佐倉城主堀田加賀守正盛領分となる  
1680年 東金に大火ある  
1688年 領主板倉甲斐守、東金へ來る  
1689年 八坂神社を改築  
1701年 東金新宿、千眼宮(浅間神社)祭典始まる  
1732年 田間神社神輿を造る。家徳に八幡神社建つ  
1747年 真亀川用水に關し、関係村の間に協定  
1750年 俳人作田東睡没す  
1752年 稲葉黙齋、鶴沢幸七郎を頼って清名幸谷に來る  
1760年 東金町、戸数429戸、人口2267人  
1765年 極楽寺三社神社に絵馬奉納される  
1794年 日吉神社本殿新設される  
1797年 佐藤信淵、大豆谷に來る  
1804年 法光寺の赤人像が作られる  
1830年 上総山辺郡中村(東金市東中)吉井家に関寛齋生まれる  
1845年 福俣村「捉書連印帳」を作る  
1847年 家之子妙宣寺大火にあつ  
1852年 関寛齋順天堂を去り、銚子で開業  
1855年 小林霞雪没す  
1860年 関寛齋、長崎でポンペに学ぶ  
1863年 御鷹場廃止になる。真忠組騒動おこる

1870年 神仏分離により、神社名改称する(山王大権現→日吉神社、火正大明神→火正神社、天満宮→菅原神社、神明宮→五十瀬神社、千眼宮→浅間神社、八幡宮→八幡神社、第六天社→田間神社)  
1871年 東金町、公平村、丘山村、大和村、正気村、豊成村、福岡村、源村、木更津県の管轄となる  
1872年 東金郵便局、通常郵便を開始する  
1900年 房総鉄道東金大網間開通する。東金駅できる  
1910年 源村、内務大臣より模範村として表彰される  
1911年 東金成東間の鉄道開通。求名駅できる。東金局、電話交換始める  
1920年 成東東金食虫植物群落文部省指定の天然記念物となる  
1926年 九十九里鉄道、東金片貝間開通  
1927年 志賀吾郷「東金町誌」を著す  
1949年 「両総排水事業促進協議会」結成され、会長に能勢剛選出される  
1953年 東金町、公平、丘山、大和、正気、豊成村が合併して東金町となる  
1954年 東金町と福岡村と源村の大部分が合併して東金市となる。初代市長能勢剛

### 原始・古代

### 中世

### 近世

### 近代

#### ■東金のあけぼの

旧石器時代および縄文時代の遺跡の多くは、丘陵地帯に分布しています。

現在、最も古い住居跡は縄文時代早期、約7000年前と考えられるものが発見されています。これから約5000年間、悠久な縄文文化が東金においても開花しました。

#### ■古代人の生活を伝える遺跡

弥生時代は、水田農耕、織物(紡織機)、そして金属器が広まっていた時代といわれています。市内に所在する道庭遺跡からも、弥生文化を示す資料が多く発見され、山武地域の中核であったと考えられています。

古墳時代になると、遺跡数が増え、家之子古墳群や山田水呑古墳群をはじめとする14の古墳群が残っています。さらに平安時代にかけては、集落跡、鉄生産跡、古代の役所跡などが発見され、村の原形がつけられてきた時代といわれています。

また、万葉集などにみられるような文化の波も押し寄せてきた時代ですが、10〜11世紀の歴史資料は数少なく、多くを語れないのが現状です。しかし、この時期の様相は、東金文化の源を知るうえで重要な時期と思われれます。

#### ■さまざまな文化の波

東金文学の始まりは万葉集です。8世紀に活躍した万葉の歌聖・山部赤人は東金生まれと伝えられ、赤人塚(田中)から赤人像が発見されています。また、9世紀初頭には仏教文化が到来し、最福寺の創建に続き、真言宗・禪宗・日蓮宗の諸寺が建立されていきました。

#### ■北条三代と久我城

鎌倉時代後半の建長元年(1249)に北条長時が松之郷に久我城を築いたと言われています。以後、長時の子久時、孫守時の三代にわたり居城しました。やがて鎌倉幕府滅亡とともに、久我城も廃城となりました。願成就寺には北条三介の墓と伝わる五輪塔が残っています。

#### ■東金の礎を築いた酒井氏

室町時代に東金を支配したのは、土気城主・酒井定隆でした。定隆により、領内全域が日蓮宗に改宗されたと伝えられています。隠居後の大永元年(1521)に三男隆敏とともに東金城へ移り、五代にわたって東金酒井氏がこの地を治めます。城下町として現在の町並みの原形が築かれたのもこの時代でした。

#### ■問屋町として栄えた江戸時代

江戸時代、東金は徳川幕府の直轄領となりました。鷹狩りに來遊するため東金と船橋を結ぶ御成街道がつけられ、また東金と海岸を結ぶ御成新道も同時期につくられました。この道を通って九十九里の海産物や上総木綿などが東金に集まり、江戸へ運ばれるようになります。東金は問屋町として発展し、「上総の黄金町」とうたわれました。このような交易は、やがて多くの文人墨客をこの地に招き寄せ、町のあちらこちらに文化遺産を残すこととなりました。

#### ■雄蛇ヶ池と農地開墾

雄蛇ヶ池は、慶長9年(1604)から10年をかけて、干ばつ対策のために造られました。後に「房総十和田湖」と称されるようになっていきます。この雄蛇ヶ池を皮切りに、享保8年(1723)には原野だった家徳・広瀬が肥沃な農地として開墾されました。

#### ■明治維新後の東金

藩藩置県を経て、東金は明治2年(1869)に宮谷県、同4年に木更津県、そして同6年に千葉県の管轄となりました。明治22年の町村制で8町村が誕生。これら8つの地区は互いに協力し合いながら近代化への道を歩んできました。



完全な形で出土した縄文時代のカッパ形土偶(県指定文化財)  
Clay water sprite from the Jomon Period that was unearthed completely intact (prefectural cultural asset)



出土した銅碗と大刀  
油井古塚原遺跡  
Copper bowl and large sword  
unearthed from the Yui-kozukahara archaeological site



万葉の歌聖・山部赤人座像  
Seated statue of master Manyo poet Yamabe-no-Akahito



銚ヶ谷遺跡  
The ruins of Hachigaya



東金の礎を築いた酒井定隆彫像  
Statue of Sadataka Sakai, the founder of Togane



県指定有形文化財の八坂神社本殿内殿  
Main hall at Yasaka Shrine (prefectural tangible cultural asset)

### History of Togane

During the pre-ceramic age, our ancient ancestors lived by the sea or in the humid uplands. During the Middle Ages, castles were built, first by Hojo and then by Sakai. During the Edo Period, the foundation was laid for a thriving commercial center. Since then, this wave of prosperity has been the driving force for modernization.